

まちのスケッチブック 第50号

泉佐野
発

→日本一の「ひとづくり」のまちへ

泉佐野市議会議員

千代松 大耕 (34歳)

ちよまつ ひろやす

市政報告

変わらない挑戦。
進化する改革。

福田康夫新総裁は、自由民主党の危機的な局面での就任だけに「安定」を最重要課題として政権運営に取り組みようとしています。党役員人事や内閣の閣僚の顔ぶれを見ますと「ねじれ国会」での野党との論戦や緊急事態にも迅速に対応できる強力な布陣であると思います。7月の参議院選挙前から、「年金記録問題」「政治とカネ」に関する問題が大きな課題として避けて通れなくなり、参院選で自由民主党は国民の信頼を勝ち得ることができませんでした。「一歩間違えば政権を失う背水の陣内閣」と自らを位置付けた福田新政権には今後しっかりと掲げた政策を着実に実現し、実績と信頼を積み上げていっていただきたいと思えますし、また党所属の地方議員である私といったしましても、一日も早い自由民主党への信頼回復に全力で取り組んでいく所存でございます。

自由民主党の新しいリーダーが誕生いたしました。泉佐野市におきましては、来年早々に次の4年間の舵取りを誰に託すかという泉佐野市長選挙が実施されます。9月定例会市議会で自由民主党泉佐野市議員団を代表して、新田谷市長に「来年の市長選挙には出馬されるのか？」と質問をしたところ、「次なる4年間、私の政治信条からすれば、最後の仕上げの4年間、引き続き泉佐野市政発展に向け全力投球をさせて頂きたく、市民の皆様を仰ぎたい。」と出馬表明をされました。

新田谷市長は就任以来、常に財政再建に軸足を置かざるを得ない状態でありました。2期目に入ってから約30億円の累積赤字に加え、ピーク時より最大で30億円を超える収収減と国の三位一体政策により毎年約10億円の財政改善を強いられた事による、まさしく三重苦の状況でした。そのような中で財政再建準用団体に転落させない事を最大の命題として平成16年3月に財政非常事態宣言を行い、様々な健全化に向けた改革を断行しました。そして市民の皆様には大変大きな痛みを分かち合ってもらった結果、平成18年度決算で普通会計の累積赤字を解消し、泉佐野市は夕張市のように財政再建準用団体に転落してしまおうという最悪の状況を脱することができました。



財政健全化という最大の命題を達成できたのは市民の方々のご協力なしには成し得なかったことはいえ、そのための苦渋の決断を下してきた新田谷市長の行財政運営の実績を自由民主党

市立泉佐野病院問題

泉佐野市議会議員団は評価します。そして次なる4年間も引き続き新田谷市長に市政を担当していただくべく自由民主党泉佐野市議員団は全力で支援していくことを表明いたします。

市立泉佐野病院をめぐって様々な問題が顕在化しています。その中で最も深刻なものが医師不足、医師確保の問題です。医師の数は全国的には不足はしていませんが、ここで言う医師不足とは「公的な病院、すなわち公立病院など」で働く医師が不足しているということを指します。こういった問題がなぜ起こるのかと言いますと、4年前に制度化された臨床研修医制度に端を発します。それぞれの病院の規模で確保できる研修医の数が定められたことにより大学病院は従来と同じだけ大学医局に研修医を置けなくなりました。人手不足に陥った大学医局はそれぞれ息のかかった公立病院で働いている医師を医局へ呼び戻すようになりました。そういったことから公的な病院で働く医師が不足するようになったのです。

特にその中でも小児科医と産科医は不足しています。小児科医に關しての夜間診療は泉州地域の病院で連携して輪番制をとっています。また産科医の勤務状態というのとはとても過酷なもので、公立病院の勤務医が開業することが多いということがさらに産科医不足をもたらしている大きな要因です。こういった医師不足が病院経営の不安定化、そして収支の悪化をもたらし、さらに医師を確保できにくくするという負の連鎖スパイラルに陥らせます。

市立泉佐野病院は市立貝塚病院と連携して泉州広域母子医療センターを設置します。9月定例会市議会上おきましても610万円の補正予算がその関連として計上されていきました。市立貝塚病院は婦人科を受け持ち、婦人科手術・入院を担当し、市立泉佐野病院が産科を受け持ち、分娩・新生児医療を担当します。来年の4月からのスタートを目指しており、分娩・新生児医療を担当する市立泉佐野病院では、陣痛・分娩・回復を同じ部屋で行うLDR分娩室の新設や新生児集中治療室(NICU)の後方病室であるGCUの拡張を行います。

泉州広域母子医療センターの運営に関しては、泉州地域の各自治体に対して負担金の拠出を依頼しており、負担金の拠出を拒否した自治体の住民さんが分娩をされる際には分娩料金でかなりの差額をいただくことになることとなりました。

まだまだこの他にも市立泉佐野病院をめぐっては色々な問題が山積しています。それぞれの問題に対して病院や行政がどのような対処をしているのかということを含めて、これからもこの紙面で市民のみなさまにお伝えしていきます。

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

まぐまぐ発行部数ランキング 政治・行政・自治体部門 全国132位!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3~4回は、発行しています)

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス：<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

*検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。

携帯用メールマガジンを開設しています!

携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左のバーコードを携帯電話で読み取るか、<http://mini.mag2.com/> または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。



DoCoMo/au/SoftBank

千代松大耕プロフィール

1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
 2005.3 和歌山大学大学院 修了

1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選

(議会)

2003.5 市町村合併検討委員長
 2004.5 第61代副議長
 2005.5 厚生文教委員長
 2006.5 監査委員
 2007.5 行財政委員長

(現在)

(社) 泉佐野青年会議所 専務理事
 (NPO) 大阪夢づくり協議会 理事
 泉佐野市バレーボール連盟 会長
 泉佐野市柔道連盟 理事
 佐野中校区青少年指導員会 会長
 泉佐野市交通指導員
 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
 泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
 (社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
 佐野中柔道部OB会 相談役
 看護を考える市町村議員の会 副幹事長
 自由民主党泉佐野支部 政務調査会長

今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政勉強会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は市民の方々と意見交換やご質問にお答えいたします。

第35回「かけはし」… 11月22日(木)

第36回「かけはし」… 12月27日(木)

- 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
- 参加費 無料
- 時間 19:30~20:30

ミニ集会で意見交換をしませんか?

2~3人の少人数でも構いませんので、市や地域の課題に関して、千代松大耕と意見を交換したいという方はご連絡ください。平日・午前中・昼間でもスケジュールが合えば、どこにでもお伺いします。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31

TEL 458-1708

FAX 469-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
メール chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計 561,500部 第50号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。